

Vol. **119** 2019. 3 (隔月刊)

社会福祉法人 一心福祉会

<https://www.isshinfukushikai.or.jp/>

わんぱく



撮影者：宮城 武尚 (えすフェスタにて)

えすの里拠点

内容充実の 施設内研修会

利用者へ生活支援する中で、突発的な行動により、本人自身や他者に対して、ケガを負わせてしまう事などが懸念される事例などに対する悩みを抱えている職員が多い、という課題に対して、社会福祉法人蒼生の会の髙西正明理事長を講師としてお招きして、今年度第一回の施設内研修会を開催しました。

危険な行動をとってしまふ方や、自閉症による拘りなどが強く生活のリズムが思うように作れない方などへの支援の在り方を実際の事例を通して紹介していただきました。

また、職員が抱えている悩みなどに対して、質疑応答の中でも今後の支援に活かすべきアドバイスやヒントとなるお言葉をいただきました。



とても有意義な研修会でした

二時間を予定していた研修会ですが、あつという間に時間となり、もう少し質疑応答の時間がほしかったという声も聞かれるほど充実した研修会となりました。

ご多忙の中、快く講師を引き受けてくださいました、髙西様へ感謝申し上げます。ありがとうございますました。



やんばるの家

沖縄県看護師連絡会

平成三十一年一月二十五日(金)一、心療護園にて沖縄県施設看護師連絡会を開催致しました。二十一施設、二十七名の参加がありました。

今回のテーマは排便コントロールについての勉強会を行いました。便の成分は七五%が水で二十五%が固形成分、固形成分は消化されなかった食物、腸内細菌が剥がれ落ちた消化管細胞などで構成されているとの事。一番に水分摂取の促し、食物繊維の摂取が大事で、食事の前に冷水を摂ると便秘が解消される事も実

証、改めて水分量の大切さを学びました。

やんばるの家の利用者様も便秘傾向の方も多く、つい下剤に頼りがちです。自然排便を目標に、プルーンジュースの提供をしています。摂取出来ない利用者もいる為、現在はオリゴ糖の提供を検討実施していく予定です。出来るだけ利用者様それぞれの排便状況の確認、腹部アセスメントなども行い、原因への対処が出来るようにケアが実施出来ればと思いました。

看護師 大城 優子



東村 村民の森つっぴ園

地域貢献活動

法人OBの皆さんも協力!!



恒例の集合写真

法人の地域貢献活動として取り組んでいる東村つっぴ園での新芽摘み作業を東村当局と合同で行いました。

今回は、法人のOB職員も九名参加していただき、総勢約五十名が参加しました。

先輩との久しぶりの再会に会話が弾み、あっという間に作業終了の時間を迎え、最後に皆で恒例の集合写真を撮って終了しました。

法人OBの方からも楽しいひと時を過ごせたという感想も聞かれ、今年も良い活動となりました。



良い汗をかきました



OB 職員と話しもはずむ



好評であったフラダンス



民謡ボランティア宮城さんの熱唱

事業所で生産した商品の販売と地域交流を目的に去年から開催している「えすの里フェスタ」を二月九日に開催しました。

この時期の野菜や花苗、小物類等の販売のほか、焼きそばや揚げパン、豚汁等も販売しました。また、今年はイベントも去年よりスケールアップ！フラダンスや民謡ショー等地域の協力も

得ながら盛り上げて頂きました。

あいにくの天気ではありましたが、地域の方との交流も図れ何より、参加した全員が楽しく過ごせました。本当にありがとうございました。

「えすの里フェスタ」は毎年この時期に開催していく予定ですので、地域の皆さん楽しみにして下さい。

第2回

えすの里フェスタ

雨一毛負けず



桜見学 ミニドライブ



デイサービス

桜見学

デイサービスでは二月はさくら見学を毎年行っています。今年も押川『友善』の桜見学をしました。例年に比べ、暖冬の影響でいつもの時期に比べ早い開花のように思われました。

利用者の中には昔『友善』で働かれた方もおり、懐かしい道のりをドライブし、昔話にも花を咲かせていました。また帰りは、いつもの送迎コースとは違った場所を

通過し、集落巡りもしました。小学校前を通った時には、「わったー孫いるかね？」と身を乗り出しているのぞき込む方もみられました。

天気は曇りで時々小雨もぱらつきましたが、さくら見学や集落巡りを楽しみました。三月からは東村のつつじ見学、四月には喜如嘉のオクラレールカ見学と花見ができることを利用者は今から心待ちにされています。

小規模 あがり

あがりでは、午後の余暇活動の時間に二日間に分けて、福地ダム、東村立山と水の生活博物館へ桜見学をしながらドライブへ出掛けました。

天気も良かったので気分転換として福地ダムの桜を見に行き「桜も綺麗だったし、イノシシも見れてとても良かったさあ

ミニドライブ 桜見学

最高」と男性利用者の喜びの声聞かれました。他の利用者からも喜びの声も聞けて、楽しいドライブが出来ました。



ボカボカ日和で気持ち良かったです



さくら開花に笑顔満開



鬼ムーチー作り



水加減いいかねー？



健康願いを込めて

デイサービス

旧暦の十二月八日は鬼ムーチーの日。今年もデイサービスではムーチーづくりを楽しみました。世間では餅を詰まらせてしまう事故が多いため、デイサービスでも安全に配慮したムーチーを作りました。ムーチーの材料はもち粉に加え、もちもち感と歯切れの良さを出すために絹ごし豆腐とふかしたサツマイモを使用しました。

利用者の中には昔はシンナーナベを使って各家庭でたくさん作って食べたという方もいました。近頃は子供や孫も遠くにいくからと作る数が少なくなってきた方が多くいました。蒸している間、月桃の香りが漂ってきて、「懐かしいね」と皆さん口をそろえて話していました。ムーチーを食べた利用者からは「芋は入れたところあるけど、豆腐入りは初めて食べた。おいしい。」と好評でした。中にはお代わりをされた方もいて、来年のムーチーが今から楽しみと話されていました。

おいのしし年生祝い

一心療護園

平成三十一年一月十八日、一心療護園の食堂ホールにて猪生まれの利用者六名の生年祝いが開催されました。

今回は生年者の家族の時間が合わず、参加が少ない為、来賓の方は無く、身内だけの開催となりました。

個人担当が作成した成年者の紹介や家族・職員の余興で大いに盛り上がりました。

最後に全員で記念撮影し楽しい思い出となりました。





東村有銘出身
小規模あがり利用者
仲村 茂子さん (89歳)

ハーブに 魅了され商品化



人生はたった一度と言われますが、その人の歩んだ人生は唯一のもの。その貴重な体験を「私のヒストリー」(ライフヒストリー)と題してご紹介する企画です。

ハーブに興味を持ち

沖繩の薬草に興味があり県内でハーブ愛好家が集まって研究会を結成しました。ハーブ園に視察に行ったり研究発表したりする活動をしました。その中でハーブの効果を生かした洗剤や枕、いろいろな料理そして紙すきまで試みました。やんばるハーブ協同組合も立ち上げました。なんでも興味があり好奇心旺盛でした。



試行錯誤の石鹸作り

甥が薬剤師をしていたのでハーブの薬効を調べてもらい何か活用できないかと試行錯誤する中で、自分がアトピー性皮膚炎でいろいろな石鹸が肌に合わなかったため自分で作ってみようと思いました。薬草は何かいいのか、成分分析を専門機関にお願いしたりして勉強しました。石鹸の作り方を最初におしえてくれたのは、衛生兵だった義理の兄でした。すべて無添加にこだわりました。



口コミで広がる

いいものなので友人たちに差し上げていきましたが、リピーターが増え、販売してくれないかとの声かけがあったので、自宅で製造し浦添の洋裁店で委託販売をするようになりました。慶佐次売店においてももちっていた時に観光バスのガイドさんが買ってくれ、口コミで広がり県外からも注文が来るようになりました。東京の沖繩物産展で販売しました。

次世代に引き継ぐ

二、三年前までは県外の高校生の民泊受け入れをしていましたから、体験学習として石鹸作りを行いました。今は息子に作り方を教えて引き継いでやってきています。『茂子ばあちゃん美人石鹸』よかったら使ってみてください。

本人および息子、娘さんに聞き書き

一心療護園

感謝の集い

平成三十一年二月二十二日に感謝の集いが開催されました。

昨年までは「ボランティア感謝の集い」と言う呼び方でしたが、有償・無償を問わず関りのある方に感謝をしようという事で、今年度より名称が「感謝の集い」に変更となりました。



最後はみんなで歌う



手作りのプレゼント

利用者の乾杯で幕があげ、利用者のカラオケ・職員の余興で参加していただいた方々に楽しんでもらいました。来年も感謝の集いが出来ますようにこれからもお付き合いのほど宜しくお願いします。

旧正月

きじよか

去年の十二月三十一日・正月の話をしている中で入居者が

♪あっちゃー正月どー♪
♪あっちん♪あんむん♪
♪ししびる♪くいきち♪
♪ぶとうぶとうならすんどー♪
♪ワーワーワー♪

と唄われました。喜如嘉区出身の九十三歳の皆さんが幼少の頃正月に豚肉の御馳走が食べられることが待ち遠しい様子を表現した唄だそうです。

「ワーワーワー」は豚のこととで「チキジシ」に至り昔を思い出し作ることにになりました。旧正月に合わせて一月十八日に行いました。念入りに塩を揉みこむことが美食のコツとのこと。手あんだー(真心)のこもったチキジシになることを期待し歌を唄いながら作業がはずみしました。

出来上がったチキジシは、旧正月に提供され「おいしい、おいしい」と召上る顔は童心にもどった笑顔がありました。職

員も賞味させてもらい、先人の知恵を一つ伝授出来た事を幸せに思い、感謝し日々関わっていきたいと思います。

平良 佳代子



三枚肉に塩を擦り込みます

比嘉さん ファミリィ

つつじ苑

二月七日、グループホームつつじ苑では、東村老人会長である比嘉勝正さんファミリィが来苑され唄・踊りを披露して下さいました。以前より「三線弾きに行きます」とお話がありました。なかなか時間が作れず、今回連絡が入り実現すること

足浴で 満足だ

いっしん

新しい年が明けて寒さが続く中、いっしんでは皆さんに健康維持、新たな活動として足浴を実施しております。

足は【第二の心臓】とも言われ、良質な睡眠・血行促進・ストレス改善・足の浮腫み改善・などの効果が期待されています。歩行訓練・立位訓練が困難とされる方には是非

が出来ました。

本格的に着物姿で来苑され、利用者も圧倒されていましたが、更に三線に合わせて踊りが始まるとみな踊りに見入っていました。テンポの速い曲が流れると手拍子やはやしがり盛りが上がりました。素晴らしい唄・三線・舞踊を披露していただき難うございました。



まずは自己紹介です



足浴ジョーターです～

おすすめ。
利用されている皆さんは満足そうに、「だいぶ足が軽くなった」「今の時期は寒いから体が温まる。」と話されています。



カチャーシーを全員で踊りました



気持ち良いですよ～

まだ開始して間もないですが、これからも継続して足湯効果で二〇一九年も元気に乗り切ってください。

2019年4月から

一心福祉会

地域支援室開設

- ・ 相談事業所いっしん
- ・ 訪問介護事業所いっしん (新設)
- ・ 支援センターやんばる (移転)

住所 〒905-1318 大宜味村字津波 418 番地
(JA 給油所くがに SS 向い 相談事業所いっしん内)

電話番号：0980-44-1919 (代表)
FAX 番号：0980-44-2398

◇◇◇◇◇◇◇◇ 一心福祉会 老人介護施設入所 待機者状況 ◇◇◇◇◇◇◇◇

施設名	定員	空き状況	待機者
特別養護老人ホーム やんばるの家 (☎0980-44-2288)	50 名	0 名	38 名
デイサービスセンター やんばる (☎0980-44-2033)	33 名(1 日)	2 ~ 3 名	0 名
小規模多機能ホーム いっしん (☎0980-44-2662)	25 名	3 名	0 名
小規模多機能ホーム あがり (☎0980-43-2344)	25 名	8 名	0 名
グループホーム きじよか (☎0980-44-3015)	9 名	0 名	2 名
グループホーム つつじ苑 (☎0980-43-3800)	9 名	0 名	2 名

※詳しいお問い合わせは各施設にご連絡ください。

平成31年 2 月25日現在